



14号の主な内容

| | |
|------------------|---|
| 企業訪問（株式会社カスミ） | 2 |
| 筑波研究学園都市探訪 | 4 |
| 高エネルギー加速器研究機構 | |
| シルバー独自事業子育て支援ルーム | 5 |
| センターの頭脳～事務局 | 6 |
| 草刈り・剪定班がゆく | 7 |
| ご案内 | 8 |

〈企業訪問〉 株式会社カスミ

我がシルバー人材センター（「センター」）にとって年来の企画であり、またシルバー会員の就業の機会を設けていただいていることで、流通産業の大手かつ県内で有数の「地元企業」である株式会社カスミ（カスミ）を、今回取材させていただきました。地元つくば市に本社を構えている同社は、私たち市民にとって、たいへん身近で日々の生活に欠かせない存在です。また同社は、社会貢献活動をおこなって



株式会社カスミ本社



株式会社カスミフードスクエア大穂店の前景と同店駐車場

いることでも広く知られています。

本年三月取材陣は、昨年店舗改修を行った同社フードスクエア大穂店で、カスミ本社広報担当神林マネージャー様から、お話をうかがいました。

同社の理念について印象に残った言葉が幾つかあります。同社の企業理念が「カスミグループはお客さまのためにある」、経営理念が「お客さまと時代に適応し続ける企業になりたい」、経営方針では「たった一店しかなかったときのようないで地域に根づかせたい」、価値観が「カスミは『よろこびを分かちあえる食卓づくり』を使命

とします」。

とくに「たった一店」の言葉が、創立時の苦労話を聞いたことがある取材者の胸に響きました。このような企業の考えが、店の運営のバックボーンとして、お話の中で随所に現れてきます。

カスミは、食品事業に専門化したスーパーマーケットの方向を歩んでおり、茨城県を中心に千葉、埼玉など主に北関東で店舗展開を進めています。三つの店舗フォーマットをもち、主力は「フードスクエア」（提案型店舗、大型店、品数も多く食材を利用してメニュー提案型の料理コーナーもある）、

株式会社カスミは、本社をつくば市西大橋五九九一に構え、設立は一九六一年六月、資本金一四四億二千八百万円*、店舗数一七二、従業員数が合計で九千二百人以上（正社員、パートナー社員、アルバイトを含む）*。また株式会社カスミを中核とするカスミグループの傘下には、株式会社ワンダーコーポレーションなどを擁しています。二〇一五年三月、同社とマルエツ、マックスバリュ関東が経営統合し、ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス株式会社を設立しました。（*データは二〇一五年四月末現在。これ以外は本年三月末現在）



フードスクエア大穂店：地産地消の農産物コーナー



種類と数が豊富な果物コーナー



精肉の専門店



直営の惣菜コーナー

さらに「フードマーケット」（鮮度のよい商品と便利さを提供する標準店舗）、「フードオフストッカー」（価格訴求型店舗）という幅広い構成です。

まだ数は少ないもののインターネット利用のネットスーパーがあり、また移動スーパーも運営しています。移動スーパーは、つくば市、取手市、日立市で運営し、とくに高齢者の多い地域にはありがたい動くスーパーです。お客様への提案機能を高めることを目的とするフードスクエア業態の店舗を中心に、クッキングコミュニケーションコーナーを展開中です。

カスミの店のコンセプトには、安全安心な商品の提供や、お店を情報提供やお客さま交流の場づくりを目指すことがあります。これに対応したイートインコーナーや、地元農家とタイアップした地産地消の推進も進めているとのことです。

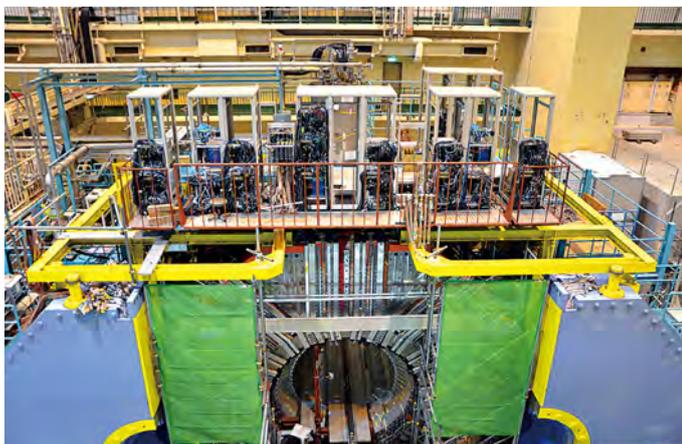
同社の基本的な考えの一つが、地域に役立つ社会貢献活動です。子どもたちに食育の大切さを教える食育体験学習では、年間一万人以上の子どもたちに栄養士が教えているそうです。東日本復興支援をはじめ、収穫体験ツアー、盲導犬育成支援、つくばマ

ラソンの支援など、広く地域へのかかわりと貢献を大事に考え、草の根運動のつながりを大切にしているカスミグループの姿勢をうかがうことができます。

今回の取材では、貴重な話をお聞かせいただきました神林マネージャー様、また店内の撮影を快くご許可いただきましたましたフードスクエア大穂店谷田部店長様に、厚く御礼申し上げます。御社の今後ますますのご発展をお祈り申し上げます。

〈筑波研究学園都市探訪〉
大学共同利用機関法人
高エネルギー加速器研究機構
宇宙の謎を解き明かす
素粒子・原子核や
物質構造の研究

現在では国の最先端研究機関の多くが一つの街の中に存在するという、アカデミックな都市がつくば市。その中で、国内外に広くその研究と成果で知られているのが、大学共同利用機関法人「高エネルギー加速器研究機構（KEK）」です。



Belle II測定器



(平成27年7月22日撮影) スーパーKEKB加速器衝突点。左はBelle II測定器(右側の衝突点に移動する)。



Belle II測定器衝突実験棟(協力国の国旗に留意)



フォトンファクトリー

KEKは、高エネルギー加速器による素粒子・原子核並びに物質の構造・機能に関する研究や、加速器科学の総合的発展の拠点として、また大学共同利用機関法人として、国内外の関連分野の研究者たちに対して、研究の場を提供するために設立されました。

今回、「センター」から文系出身で天文ファンでもある広報担当者が、二月二十六日に同施設取材で訪れました。KEK広報室の椎名達也様にKEKに関する説明と、KEKつくばキャンパス内にある衝突型加速器(スーパーKEKB)による

Belle II測定器(素粒子物理実験)と、フォトンファクトリーPF(放射光科学研究施設)物質の性質を調べる)を案内していただきました。

最初はBelle II測定器の見学です。ここには、二〇一七年の実験開始をめざして現在建設中のスーパーKEKB加速器があり、従来のKEKB加速器の性能を飛躍的に向上させるもので、電子用と陽電子用の二つのリング型加速器と、これに電子、陽電子を供給する直線型加速器から成り立っています。一周約3kmの中に置かれた二つのリングの中を光速に近

い速度で、それぞれのビームを逆方向に周回させて、衝突点に設置された Belle II 測定器が、衝突によって起こる素粒子反応を捉えて観測するわけです。物質と反物質の謎、新しい素粒子の発見、宇宙起源の謎などの解明につながる事が期待されています。

この Belle II 測定器の実験には、二十三国から約六〇〇名の研究者が参加しているそうで、建物内には、参加国の国旗が張り巡らされていました。

次はフォトンファクトリーPFを見て回りました。放射光（赤外線からX線領域の光）をつくる電子の加速器で、食品の分析など応用範囲が広い分野で、企業にも有用な研究分野を提供する施設です。見学窓からは、若い研究者たちが、実験に夢中になっている姿が見えて頼もしく思えました。以上で見学は終わりました。

最後に話を伺ったところでは、KEKは基礎科学の研究を推進しており、また日本全国の大学に使っていただくのが目的で、できるだけ多くの研究者、技術者、民間の企業などに広く利用していただきたいとのこと。あら

ためて基礎物理学の大切さを教えられたと思います。KEK広報の方には、広いキャンパス内を車で案内していただき、厚くお礼申し上げます。

<案内>

KEK 住所：〒305 - 0801 茨城県つくば市大穂1 - 1

電話：029-879-6047（広報室）

Web site：http://www.kek.jp/

交通：つくばエクスプレス「つくば駅」から、つくバス「北部シャトル」行き。

関鉄バス「テクノパーク大穂」「下妻駅」行きバス。

○施設見学ツアー：10～80名。平日のみ。要予約。

○常設展示場「KEK コミュニケーションプラザ」：自由見学。人数は制限なし。無料。予約不要。開館時間9：30～16：30。

○KEK 高エネルギー加速器研究機構では一般市民や学生向けに、毎年4月と9月にKEK キャンパス内を公開しています。施設内にある2008年ノーベル賞受賞にもとづく小林記念ホールや市内のホールでは、研究発表会、講演会、ミニコンサートなどが、またサイエンス・カフェ（市内「Biviつくば」2F）などで科学の普及活動を行っています。

〈シルバー独自事業便り〉 子育て支援ルーム「きずな」

平成二十六年十二月一日にオープンした子育て支援ルーム「きずな」も、この2月で早くも一年と三ヶ月がたちました。昨年末までに預かった子供たちは合計で四〇〇人を越え、少しずつではありますが、着実にその数が増えており、今年2月からつくば市内へ通勤する市外在住の家族の子どもも預かるようになりました。

この間、子供たちのご両親やご家族、周囲のみなさんからの信頼と声援をうけて、まだごく小さな施設ではありますが、地味ながら着実に歩んでこられたように思います。幼い子供たちを預かることは、極めて責任





の重い仕事ですが、豊富な子育て経験をもつシルバー会員の女性にとって、もつともふさわしい仕事のひとつと言ってよいと思います。

コーデイネーターが三人、シルバー女性会員スタッフが八人というサポート体制の下、「安心子育て」を基本理念に、女性会員スタッフたちは子どもたちを見守っています。取材者がこの支援ルームを訪れた三月初め、元気でかわいい子どもたちの歓迎をうけました。その折の光景です。

センターの頭脳と事務局

本誌の読者で、公益社団法人つくば市シルバー人材センター「センター」の会員であれ一般の方であれ、センター事務局の機能や構成などについて、あまりご存知でない方々のために、まずセンターの事務局についてご紹介します。

沿革…「センター」は、平成三年十一月に設立、翌年法人登記され、平成十五年四月には旧荳崎町シルバー人材センターと合併、平成二十四年公益社団法人として登記され、現在にいたっています。

センターの本部事務局は、大穂庁舎の二階にあり、広さは二十五坪くらい、トップの岡野好雄事務局長のほかに、職員は女性職員四名を含め総勢六名の体制をとっており、岡野事務局長自ら、毎朝8時半に朝礼を行うのが日課です。理事長はじめ各理事や会員のみなさんも、仕事や会議などでは事務局を通じてスムーズに仕事を進めます。

本論・事務局における業務の進め方を、役割分担別に概括します。少人数

で業務をこなすために、各職員が重複した業務を持ちながら進めていく方法です。

〈会員に関係すること〉

| | |
|-----------|-----------|
| 理事会・総会関係 | 岡野、長谷川、中根 |
| 総務部会関係 | 長谷川、中根 |
| 事業部会関係 | 中根、松本 |
| 広報部会関係 | 中根 |
| 女性部会関係 | 中根、柴沼 |
| 安全パトロール関係 | 長谷川、澤田 |
| 草刈り・剪定関係 | 澤田、松本 |
| 地区委員会関係 | 澤田、松本 |

〈お客様に関係すること〉

| | |
|------------|-----------|
| 筑波地区 | 長谷川、中根 |
| 大穂地区 | 長谷川、澤田 |
| 豊里地区 | 松本、長谷川、中根 |
| 桜地区 | 澤田、松本 |
| 谷田部地区 | 松本、長谷川、中根 |
| 荳崎地区 | 澤田 |
| 駐輪場 | 中根、松本 |
| すけっとくん | 長谷川、岡野 |
| リフォーム | 柴沼、菊地 |
| リサイクル自転車事業 | 柴沼、菊地 |
| 子育て支援事業 | 中根、柴沼 |



岡野事務局長とみなさんによる朝礼

〈センター業務に係る関係すること〉

| | |
|----------|--------|
| 経理一般 | 菊地、中根 |
| 総務一般 | 中根、長谷川 |
| 請求関係 | 柴沼、澤田 |
| 入会審査・入退会 | |
| 入会説明会 | 全員 |
| 事務局だより | 長谷川、中根 |
| 広報誌きずな | 中根 |
| まつりつくば | 長谷川、岡野 |

GW、決算などで事務作業がピーク時の場合、職員はフル体制で臨んでいます。

〈草刈り・剪定班がゆく〉 平成二十七年年度 「冬季剪定講習会」開催

シリーズとしてご紹介している本欄は、つくば市シルバー人材センター「センター」の会員が活動する各分野の中で、「草刈り班」と「剪定班」を中心としています。両班の合計登録人数も六十六人と最大のメンバー構成となっています。

さて「センター」が、会員の活動でもっとも重視し実行しているのが、「安全」対策です。これはお客様や市民の皆さまのみならず、会員自身の安全にかかわる問題です。常に危険を伴う草刈り、剪定作業においては、必須と言っ



邸内の庭で剪定講習



四つ目垣の実技講習



中島氏の敷地内に勢ぞろいした受講者たちの軽トラ群

てもよいでしょう。現実的には、事故ゼロの目標はなかなか達成できませんが、最優先課題となっています。

「センター」では、その課題を重点におきつつ、各班における会員の技術向上を目指して、定期的に講習会を行ってまいります。剪定班では、平成二十七年年度「冬季剪定講習会」を、今年一月二十五日（科目講習）、一月二十六日（二十七）（実技講習）にかけて行いました。

実技講習場所には、剪定班の会員である中島氏のご好意により、市内前野にある広大な同氏邸と敷地にて実施。参加者は、講師九名、受講申込者五十三名。



中島氏の邸宅前で、今回参加者全員と事務局のスタッフ

〈シルバー自転車部〉 地域社会と共生し愛される 自転車屋を目指して

二〇一三年有志による自転車を再生・修理・点検する店舗をオープンして足かけ4年になります。常陽リビングにも紹介さ



れましたが、市内の放棄自転車の回収や大学卒業生や転勤に伴い不要となった自転車を引取り、リサイクルを行ってから販売することで、廃棄自転車の無い街を目指し活動を続けています。

昨年は自転車技士、自転車安全整備士の資格を取得するなど、メンバーも更なる技術のレベルアップを計ると共に、迅速で丁寧な修理・点検がお客様からご好評をいただき、今後も地域に貢献できるようにメンバー一同頑張つて活動してまいります。

住所…つくば市吾妻一―二―五

(南1立体駐車場出口向かい側)

問合せ先…090-7801-1043

営業時間…毎日(年末年始除く)

午前10時～午後6時

〈事務局より〉

平成二十八年度定時総会の開催予定。

日時…平成二十八年六月二十四日(金) 午前10時

場所…市民ホールとよさと

平成28年度入会説明会

| 月 | 日 | 時間 | 場所 |
|----|--------|------|-------|
| 4月 | 14日(木) | 午後1時 | 大穂庁舎 |
| 5月 | 12日(木) | 30分 | 3階会議室 |
| 6月 | 9日(木) | | |

参加申し込みは事務局までお問い合わせください。

〈付記〉

表紙の花の写真はすべて、平成二十八年に撮影。上から順に、(一)梅(二月二十八日、筑波山梅林)、(二)福寿草(二月十日筑波山麓の民家)、(三)ソシロウバイ(二月十九日筑波実験植物園)、(四)ハナモモ、(五)コヒガン(いずれも三月十六日荃崎森の里)(黒澤・山内)